

北野内科クリニック様 (兵庫県姫路市)

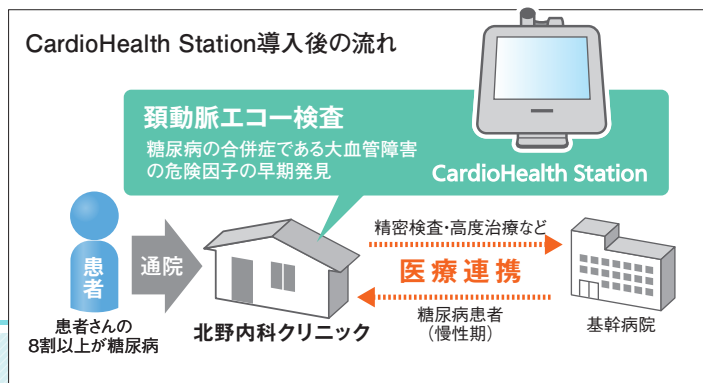
糖尿病専門内科としてIMT^{※1}を自動測定できることで、
正確な診断と地域医療連携に役立っています。

院長 北野 元子 先生

糖尿病をはじめとした生活習慣病の専門医療を提供する北野内科クリニック。院長の北野先生は、もともと基幹病院で糖尿病内科医をされていましたが、糖尿病は慢性疾患で長期の診療が必要な患者さんが多いため、一人ひとりの患者さんを大切にサポートしていきたいという思いから3年前に開業されました。同クリニックの理念は、基幹病院のサテライトとして、いつでも患者さんが相談に来られる身近な医療施設としての役割を果たすこと。もちろん、精密検査や高度治療が必要な場合は、すぐに基幹病院を予約紹介するという連携をはかっています。そこで、患者さんの動脈硬化を正確に自動測定できる超音波診断装置として「CardioHealth Station」を導入。敷居の高いイメージだった頸動脈エコー検査が診察室で手軽にできるので、疾患の早期発見や患者さんの不安払拭に役立ち、地域に愛されるクリニックを目指すという北野先生の良き片腕となっています。



超音波診断装置
導入事例
Vol.01



北野内科クリニック 兵庫県姫路市下手野4-6-34



来院患者さんの8割が糖尿病という専門クリニック。基幹病院との連携を重視するために、そのすぐ近所にクリニックを開業。それぞれの役割を棲み分けながら一体となって、患者さん本位の診療を行っています。

- 開業:2010年5月
- 院長:北野 元子先生
- 診療科目:内科、糖尿病内科
- 職員数:医師1名、看護師5名、事務員3名、その他2名



超音波診断装置 GM-72P00A
医療機器認証番号 223ABBZX00097000
特定保守管理医療機器

導入の決め手

頸動脈IMTを自動測定。大血管障害のスクリーニングが簡単に正確に行えます

北野内科クリニックでは、以前、頸動脈エコーが必要な患者さんには、基幹病院へ行って検査を受けてもらっていました。IMT測定には複雑な検査機とそれを操作する専門技師が必要だと考えていたからです。でも、患者さんにとって検査の度に基幹病院へ行くのは面倒なこと。そんな折、「CardioHealth Station」のことをお聞きになった北野先生は、医師や看護師でも手軽にIMTの自動測定ができるというメリットに魅力を感じてデモンストレーションを依頼。「初めは半信半疑でしたが、実際に触れてみると、タッチパネルの指示通りに操作するだけで、非常に簡単に使えることがわかりました」と語ります。IMTの測定精度も非常に高く、大血管障害のスクリーニングを正確に行えることにより、精査を必要とする患者の早期発見にも有効と考えて導入を決めました。

導入のメリット

頸動脈エコーの実務経験のない医療スタッフでも、早く安定した結果が得られます

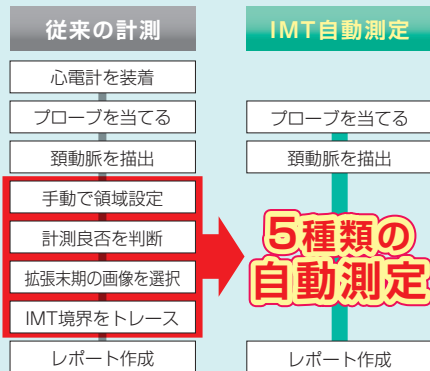
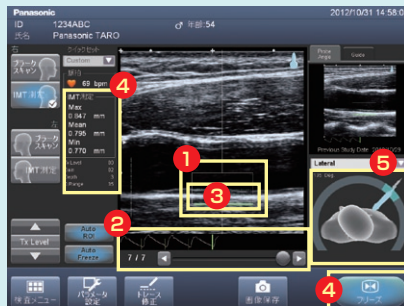
「CardioHealth Station」を導入してみて、頸動脈エコーの実務経験のない医療スタッフでも習得が早く、テクニカルエラーの少ない安定した結果が得られるようになったと、北野先生はその導入効果に満足されています。プリントアウトされる「心血管疾患リスク判定レポート*2」も、グラフや写真が多用され、わかりやすいと患者さんに好評。高血圧症や脂質異常症の既往のある患者さんには生活習慣の改善指導に活用できるほか、目立った異常のない患者さんには安心感を与えることができます。「私どものように多くの生活習慣病の患者さんを専門に診るクリニックでは、診療時間や医療スタッフのマンパワーに制約があり、短時間で正確な検査結果が得られることはとても有益です」と、北野先生は患者さんのQOL向上にこれからも役立てていきたいと語ってくださいました。

取材日:2013年2月

CardioHealth Stationの特長

5種類の自動測定によりIMT測定のワークフローを改善。

- 1 Auto ROI**
頸動脈の深さを判定し、測定ROIを頸動脈の後壁部分に自動的にセット。
- 2 Auto Trigger**
血管の動きをリアルタイムに解析することで心電計を使わずに心拡張末期近傍のタイミングを自動検出しIMTを測定。
- 3 Auto IMT**
超音波反射波(エコー信号データ)を使って内中膜の境界抽出を自動的に行うことで、IMTの高い測定精度と再現性を実現。
- 4 Auto Freeze**
IMT測定の品質指標を判定し、条件を満たすと自動的に画像をフリーズ。即時にIMTのMax、Mean、Minの測定結果を表示。
- 5 プローブ角度表示**
対水平面のプローブ角度を表示。次回のために角度を記録。



※1：IMTとは、Intima Media Thicknessの略で、動脈の中膜複合体を意味する。IMTの肥厚は、心筋梗塞や脳卒中の発症・再発率と相関を示すことから近年心血管イベントの予測因子として高く評価されている。
 ※2：NIPPON DATA80に基づいた心血管疾患リスク判定を含む

商品情報を載せたホームページです。ぜひご覧ください。

<http://panasonic.biz/healthcare/chs>



パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます

- 省エネを徹底的に追求した製品をお客様にお届けし、商品使用時のCO2排出量削減を目指します。
- 新しい資源の使用量を減らし、使用済みの製品などから回収した再生資源を使用した商品を作り、資源循環を推進します。

詳しくはホームページで
panasonic.co.jp/eco

お問い合わせ先

パナソニックヘルスケア株式会社
 お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-878-211

365日
 受付9時～20時

ご相談窓口における
 個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社(以下「当社」)は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしておりますので、ご了承ください。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提示いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お問い合わせは…

パナソニックヘルスケア株式会社
 マーケティング本部

〒105-8433
 東京都港区西新橋2丁目38番5号西新橋MFビル

このカタログの記載内容は
 2013年3月現在のものです。

GM-JJSC08BB1